



小津産業株式会社

会社案内

温故知新

承応2年（1653年）創業。

伝統、それは継続的な開拓の歴史である。

伝統を継続するとともに 新しい芽を生み出し育むこと



小津産業は、1653年(承応2年)の創業以来、時代時代のニーズに即した製品を提供してまいりました。この業歴を誇りに思い、大切にしながらも「伝統、それは継続的な開拓の歴史である」とわたしたちは認識しております。

和紙を祖業とする小津産業が紙や不織布^{ふしょくふ}を扱いグローバルビジネスを展開する一方、さらなる新しい事業に挑戦し続けるのは、市場や消費者ニーズの変化に対応したサービスと高付加価値商品の提供を第一に考えているからです。

わたしたちが生み出す付加価値は、伝統と革新の融合によって生まれます。

ふる^{ふる}きを温ね、新しきを知る—————

温故知新の精神を具現化し続けることで、お客さまに安心感を提供し、さらなる高みを目指していくことができると考えています。

企業としての意義をさらに高め、社会と日本文化の発展に貢献できるよう努力邁進してまいります。

どうぞ、尚一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

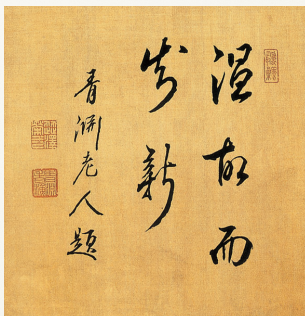
代表取締役社長 兼会長 兼社長執行役員 **今枝英治**

企業理念

わたしたちは、伝統とは継続的な開拓の歴史との認識のもと、お客さまの満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、豊かな暮らしと文化に貢献してまいります。

「温故而知新」青淵老人題

渋沢栄一翁(1840~1931)が小津の経営理念に賛同し、自ら筆をとり、したためたもの。渋沢翁は青淵と号し、広い見識をもって明治・大正期の実業界を指導された先覚者で、翁の偉大な人格は、常に小津グループが範として仰いでいます。



温故而知新—論語為政編の一節

経営方針

創業以来、暖簾に込めてきた思いを大切にしながら、引き継がれてきた信頼をより高めてまいりました。この信頼第一の姿勢を守るとともに、製造商社として、素材に応じてメーカー、卸売、小売とその役割を変化させ、あらゆる局面に対応してまいります。

拡大を続ける

小津グループのビジネスフィールド

エレクトロニクス分野

高品質・高機能を求めるニーズに対応
先端技術産業を側面からサポート



メデイカル分野

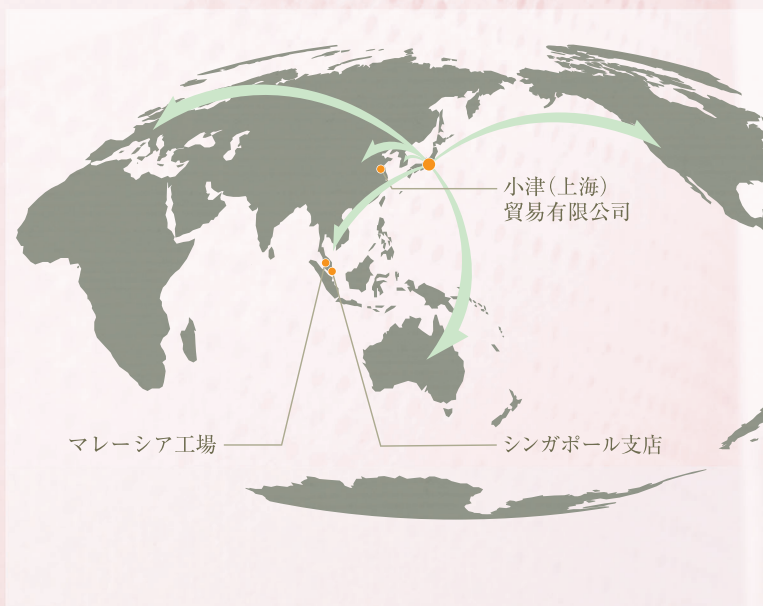
不織布ガーゼ市場のパイオニア
医療分野に広がる活用領域



今なお色褪せない数世紀の歴史を辿る伝統的な和紙、快適な生活をサポートする日用品、エレクトロニクス分野やメディカル分野において不可欠な不織布製品から農業の未来を見つめるアグリ分野まで、時代の移り変わりを見据えつつ小津グループが手がけるビジネスは大きく広がっています。

コンシューマー分野

不織布のもつ可能性を追求
暮らしの中に広がる「紙と不織布」



海外事業

日本の小津産業から
世界のOZU CORPORATIONへ

小津グループ

独自の商品開発力と受託製造の豊富な実績

dipro 株式会社ディプロ

<https://kk-dipro.co.jp>



農業の発展に貢献する「シーダー農法」

PLANT 日本プラントシーダー株式会社

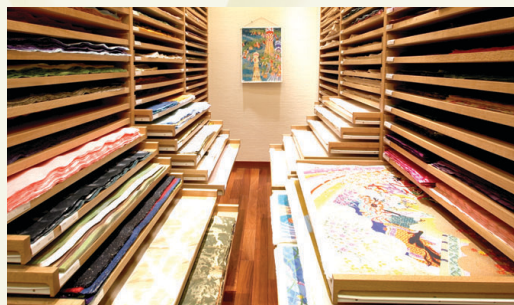
<http://www.plantseeder.co.jp>



過酢酸によるフードセーフティの実現

ENVIROTECH エンビロテックジャパン株式会社

<http://envirotechjp.com>



和紙の魅力と日本の伝統を伝える文化拠点

小津和紙

<https://www.ozuwashi.net>

生活者の視点に立った最適な商品、
最適な流通サービスの提供

azfit アズフィット株式会社

<https://www.azfit.co.jp>

小津の歩み

370年を越え、歴史を刻み続ける。

1653年(承応2年)に小津清左衛門長弘によって創業された紙商小津は、松阪商人の江戸店として経営され江戸の紙商として広く知られておりました。

その伝統は現在の小津グループに受け継がれ創業から370年を越えて続いています。



江戸時代

- 1653年 承応2年 小津清左衛門長弘が、江戸の商業地大伝馬町(現 本社所在地)に紙問屋「小津清左衛門店」を創業。
- 1698年 元禄11年 大伝馬町に木綿店を創業。
- 1755年 宝歴5年 紀州藩松坂御為替御用に加わる。江戸表において御為替御用を命ぜられる。
- 1784年 天明4年 7代 清左衛門長保が向店「大橋屋」を開業し、茶、下り鯉節も取り扱う。

明治・大正

- 1880年 明治13年 (有)東京洋紙会社の事業を引受け、「小津洋紙店」(資本金10万円)に商号を変更。
- 1886年 明治19年 木綿問屋仲間と提携して、「東京紡績会社」(資本金50万円)を設立。
- 1899年 明治32年 「小津銀行」(資本金10万円)を三重県松阪に設立。
- 1903年 明治36年 日本細糸紡績会社の工場を買収、「小津細糸紡績所」を設立。
- 1920年 大正9年 小津細糸紡績所、武林洋行を吸収合併して、「小津武林起業株式会社」を設立。

昭和

- 1927年 昭和2年 金融恐慌により小津銀行、四日市銀行(現 三重銀行)と合併。
- 1929年 昭和4年 法人組織化するため、「合資会社小津商店」を設立。
- 1939年 昭和14年 経営の近代化をはかり、「小津商事株式会社」を東京市日本橋区(現 本社所在地)に設立。
- 1941年 昭和16年 新京特別市(長春)に「満州小津商事株式会社」(資本金15万円)を設立。
- 1944年 昭和19年 小津商事株式会社の商号を「小津産業株式会社」に変更。
- 1946年 昭和21年 統制解除を機会に紙販売部門を一本化するために、合資会社小津商店の紙の国内営業部門を譲受。
- 1957年 昭和32年 洋紙販売の拡充をはかるため、小津産業株式会社洋紙部門と本町商事株式会社が合併し、「株式会社小津洋紙店」(資本金2,000万円)を設立。
- 1964年 昭和39年 「調布営業所」を開設。
- 1967年 昭和42年 「大阪営業所」(現 大阪支店)を開設。
- 1971年 昭和46年 創業300年記念事業として、小津本店創業の地に「小津本館ビル」を完成。
- 1973年 昭和48年 旭化成工業株式会社(現 旭化成株式会社)と1:1の比率で合弁会社、「株式会社旭小津」(資本金2,000万円)を東京都中央区に設立。宮崎県延岡市に不織布の専用加工工場を建設。
- 1974年 昭和49年 「千葉営業所」を開設。
- 1975年 昭和50年 「埼玉支店」を開設。



- 1978年 昭和53年 小津産業株式会社、資本金5,000万円に増資。
1979年 昭和54年 株式会社小津洋紙店、商号を「小津紙商事株式会社」に変更。
1982年 昭和57年 株式会社小津商店、「和紙博物館」を小津ビル内に開設。
1983年 昭和58年 流通センター(現 埼玉第一物流センター)を開設。
1984年 昭和59年 創業330年を機に、業容拡大と経営効率向上をはかるため小津紙商事株式会社と合併(資本金1億円)。

平成

- 1989年 平成元年 12月 不織布商品の加工を目的として、「オヅテクノ株式会社」(資本金2,500万円)を東京都中央区に設立。
1992年 平成4年 6月 株式会社大成洋紙店を合併、さらに小売部門への進出のために株式会社小津商店より小津和紙博物館の営業権を譲受。
1993年 平成5年 1月 「大宮第二物流センター」(現 埼玉第二物流センター)を開設。
2月 小津産業株式会社、資本金を5億1,020万円に増資。
1995年 平成7年 1月 「府中物流センター」「府中支店」を開設。
4月 「海外開発室 中国駐在所」(のちの 武漢事務所)を開設。
1996年 平成8年 2月 日本証券業協会(現 JASDAQ)に株式を店頭登録。資本金8億8,970万円に増資。
7月 「仙台出張所^{*}」を開設。
1997年 平成9年 11月 厚生省(現 厚生労働省)より医療用具製造販売許可(GMP)を取得。
1998年 平成10年 1月 小津史料館を和紙博物館内に開設。
12月 経営基盤の一層の効率化をはかるため、本栄株式会社と合併。
1999年 平成11年 3月 オヅテクノ株式会社が日本プラントシーダー株式会社の発行済株式の全部を取得し、子会社化。
5月 「シンガポール駐在員事務所」(現 シンガポール支店)を開設。
12月 小津産業株式会社、資本金を13億2,221万円に増資。
2000年 平成12年 9月 「神奈川物流センター^{*}」「神奈川支店」を開設。
2001年 平成13年 6月 東京証券取引所 市場第二部に株式を上場。
2003年 平成15年 9月 「埼玉第三物流センター」を開設。
2004年 平成16年 7月 「香港駐在員事務所」(のちの 香港支店)を開設。
2006年 平成18年 9月 株式会社紙叶の発行済株式の全部を取得し、子会社化。
2007年 平成19年 4月 「上海駐在員事務所」を開設。品質マネジメントシステムISO9001認証取得。
12月 家庭紙・日用雑貨事業を株式会社紙叶に吸収分割。「アズフィット株式会社」に商号を変更。
2008年 平成20年 5月 「九州出張所」を開設。
6月 東京都府中市に植物工場を設置し、「日本橋やさい」事業を開始。
2009年 平成21年 12月 経営資源を主力である不織布事業・家庭紙事業に集中するため和紙事業を株式会社小津商店に譲渡。
2010年 平成22年 6月 「東北出張所」、「中部出張所」を開設。
2011年 平成23年 2月 「小津(上海)貿易有限公司」を設立。
2013年 平成25年 5月 株式会社ディプロの発行済株式の全部を取得し、子会社化。
2014年 平成26年 7月 「Ozu (Thailand) Co.,Ltd.」を設立。
7月 東京証券取引所 市場第一部に株式を上場。
2017年 平成29年 3月 当社、Enviro Tech Chemical Services,Inc.および全国農業協同組合連合会の3社で、
合併会社「エンビロテックジャパン株式会社」(資本金1億円)を設立。

令和

- 2021年 令和3年 2月 アズフィット株式会社の一部株式(80%)を譲渡。

※現在アズフィット株式会社において名称を変更し業務を継続しております。



会社概要

会社名 小津産業株式会社 (英語表記: OZU CORPORATION)

URL <https://www.ozu.co.jp>

本社所在地 東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号

創業 承応2年(1653年)

設立 昭和14年(1939年)12月6日

資本金 13億2,221万円

証券コード 東京証券取引所 スタンダード市場 7487

事業内容 不織布(エレクトロニクス用、メディカル用、コスメティック用、産業資材用、除染用)、洋紙・紙製品などの国内販売・加工・輸出入

経営体制

代表取締役社長 兼会長兼社長執行役員	今枝 英治	常勤監査役	近藤 聡
代表取締役 副社長執行役員	河田 邦雄	監査役	稲葉 敏和
取締役 兼 上席執行役員	村尾 茂	社外監査役	深山 徹
取締役 兼 上席執行役員	三崎 剛志	社外監査役	山本 千鶴子
社外取締役	穴田 信次	執行役員	立野 智之
社外取締役	山下 俊史	執行役員	柴崎 治
社外取締役	阿部 光伸		

(2023年8月29日現在)

従業員数 97名(2023年5月31日現在)

取引銀行 みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、静岡銀行、みずほ信託銀行

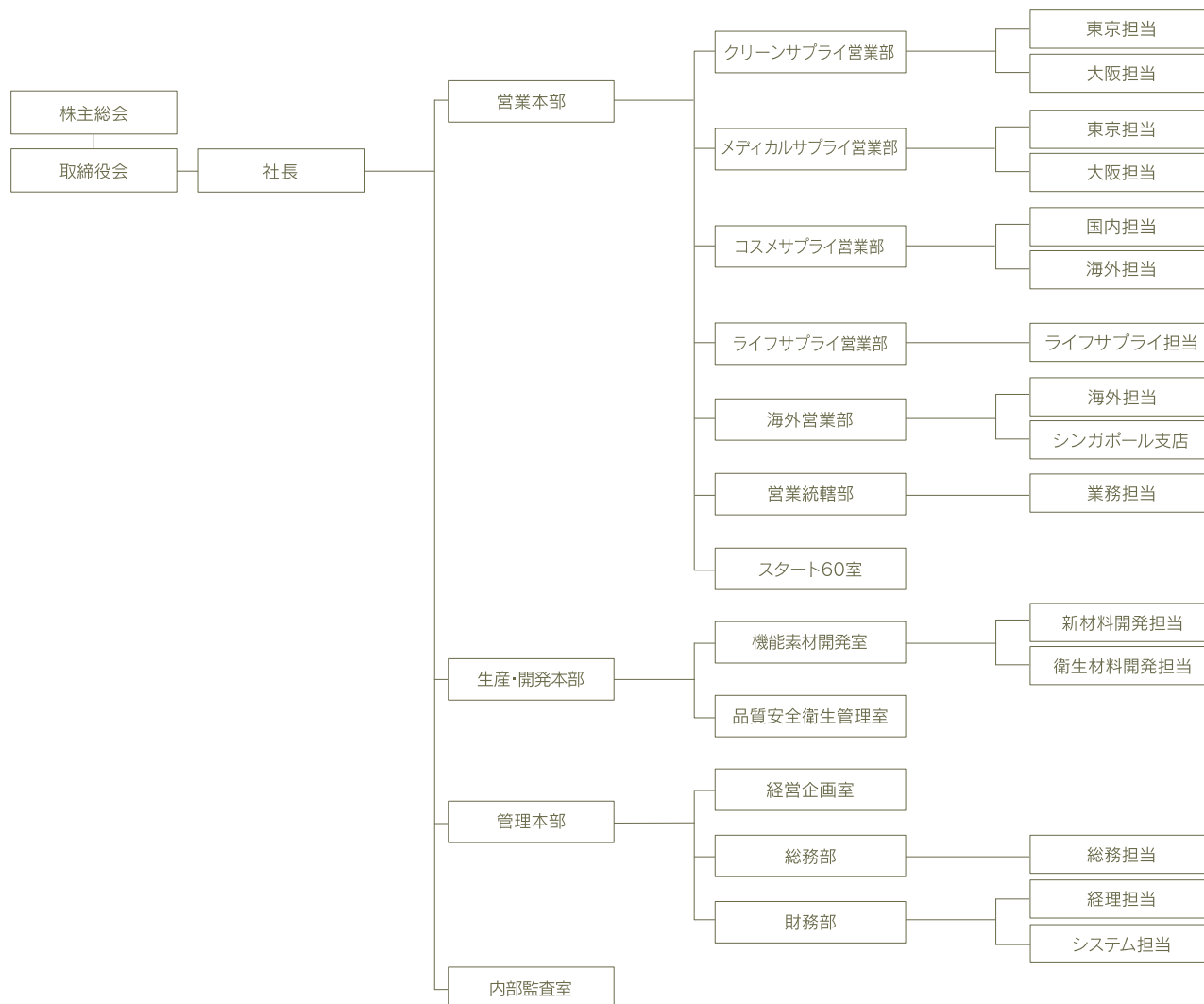
事業所

本社	東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル 〒103-8435 TEL:03-3661-9400(代表)
大阪支店	大阪府大阪市中央区瓦町2-3-10 瓦町中央ビル 〒541-0048 TEL:06-6226-4184(代表)
埼玉第一物流センター	埼玉県さいたま市見沼区卸町1-15 〒337-0004 TEL:048-683-1305

許認可一覧

小津産業株式会社	第二種医療機器製造販売業 化粧品製造販売業 医療機器製造業	許可番号:13B2X10098 許可番号:13C0X00020 許可番号:11BZ000657
本社	化粧品製造業 包装・表示・保管 高度管理医療機器等販売業・貸与業 毒物劇物一般販売業	許可番号:11CZ200010 許可番号:第5502175394号 登録番号:第3102002022号
大阪支店	毒物劇物輸入業 高度管理医療機器等販売業・貸与業 毒物劇物一般販売業	登録番号:東輸第706号 許可番号:第N05186号 登録番号:第06H00090号

組織図



環境への取組み

企業活動を通じた環境保全

小津産業の主力製品は創業以来取り扱ってきた紙と、天然繊維を原料とする不織布製品です。

「小津グループ 環境スローガン、基本理念、環境方針」に基づき、エコロジー製品の販売促進、使用資源の低減、廃棄物の削減などの具体的なテーマに全従業員参加で取組みます。

品質への取組み

さらなる品質の向上へ

小津産業とグループ会社の株式会社ディプロおよびオズテクノ株式会社は、

品質マネジメントの国際規格であるISO9001の認証を取得しております。

これからも絶えず品質に対する高い意識をもちながら、より良い製品の提供に努めます。

ロゴに込めた想い



鱗久(うろこきゅう)

創業以来使用している、三角形の鱗紋に「久」の文字が記された「鱗久(うろこきゅう)」の紋には、お客さまとの関係性と先人たちのたゆまぬ経営努力が染み込んでおり、小津グループの至宝だと考えています。

グループ企業

日本プラントシーダー株式会社

シーダーテープおよびシーダーテープ関連機器の製造・販売・開発

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル TEL:03-5623-1183(代表) 資本金 8,500万円
<http://www.plantseeder.co.jp>

株式会社ディプロ

ウェットティッシュ等の製造および販売

〒799-0711 愛媛県四国中央市土居町土居2227-2 TEL:0896-74-5588(代表) 資本金 8,160万円
<https://www.kk-dipro.co.jp>

オヅテクノ株式会社

不織布および紙製品の加工工場

〒337-0004 埼玉県さいたま市見沼区卸町1-15 TEL:048-685-9031 資本金 2,500万円

小津(上海)貿易有限公司

中国における不織布製品の販売および輸出入

中国 上海市中山西路999号 華聞国際大厦906 TEL:+86-21-3252-8995 資本金 100万元
<https://www.ozu-tr.com.cn>

株式会社旭小津

旭化成株式会社との合弁会社で、ベンリーゼ(不織布)の専用加工工場

〒889-0514 宮崎県延岡市櫛津町3294-1 TEL:0982-37-2906 資本金 2,000万円

エンビロテックジャパン株式会社

過酢酸製剤の日本およびアジア諸国における製造、販売、仲介ならびに輸出入等

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル TEL:03-3661-8925 資本金 10,000万円
<http://envirotechjp.com>

アズフィット株式会社

家庭紙・日用雑貨および事務用品の卸売、製造販売

〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7 TEL:03-6423-1647(代表) 資本金 10,000万円
大森ベルポートE館4階
<https://www.azfit.co.jp>

株式会社小津商店

不動産管理やビル建物等の賃貸業務および和紙事業の運営

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル TEL:03-3662-1251(代表) 資本金 39,888万円
<https://www.ozuwashi.net>

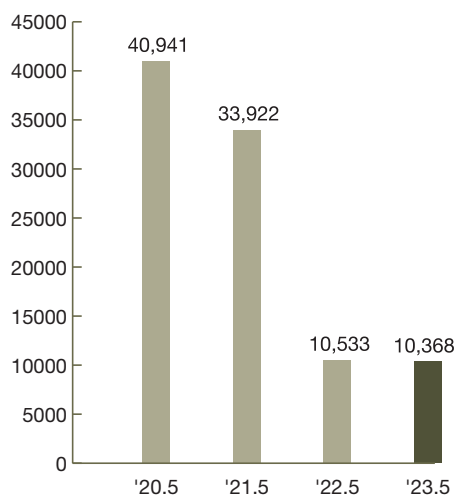
財務データ(連結)【単位:百万円】

2023年5月期(2022年6月1日~2023年5月31日)

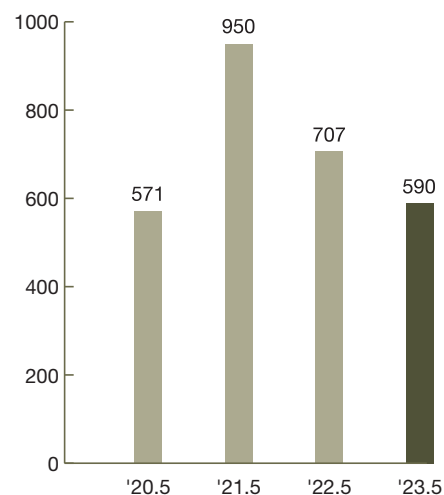
売上高	10,368
経常利益	590
親会社株主に帰属する当期純利益	383
総資産	24,630
純資産	18,020

直前3事業年度の財産および損益の状況【単位:百万円】

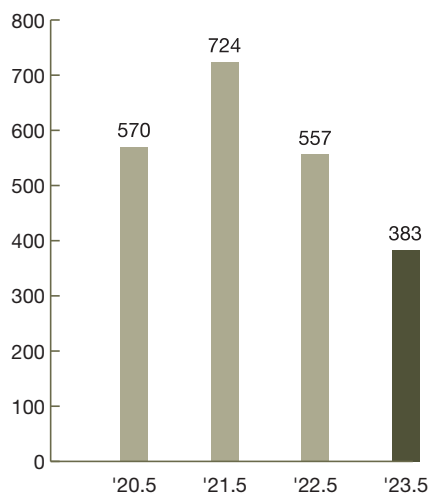
【売上高】



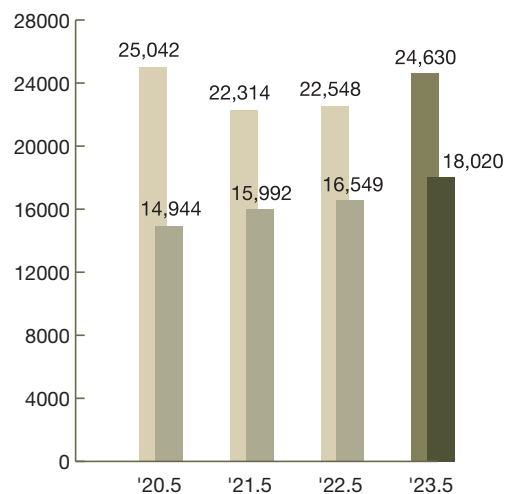
【経常利益】



【当期純利益】



【総資産／純資産】



■ 総資産 ■ 純資産

- (注) 1. 2021年5月期において、アズフィット(株)の株式の80%を譲渡し、同社を連結子会社から持分法適用関連会社へ変更したため、売上高が減少しております。
 2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年5月期の期首から適用しており、同期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

小津産業株式会社

〒103-8435 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル
TEL:03-3661-9400(代表) <http://www.ozu.co.jp/>